

# 容易に設置可能で省力的なキャベツセル成型苗の底面給水育苗技術

複数のシートを重ねた底面給水床への自動給水により、省力的でかん水ムラの生じにくいキャベツセル成型苗の育苗技術

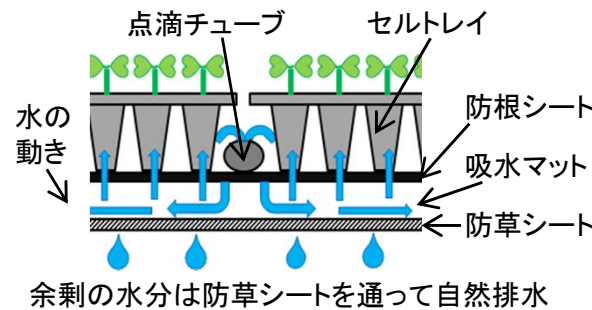
## 研究開発の背景

- ・秋冬野菜の夏季高温条件下でのセル成型苗育苗では、従来の手かん水は労力を要する上、生育ムラが生じやすい。
- ・生育ムラの原因となるかん水ムラが少なく、省力的な給水が可能で、かつ設置が容易な育苗技術の開発が求められていた。

## 研究成果の内容

### 底面からセルトレイへの自動給水によるセル成型苗の育苗技術

水稻育苗箱等を足場にした育苗架台の上に防草シート、吸水マット、防根シートを重ね、その上面に点滴チューブを設置する。キャベツを播種したセルトレイを直置きしてタイマーで自動給水することで、機械移植が可能なセル成型苗を安定して生産できる。



セルトレイの設置



底面給水床で育苗中の様子



キャベツセル成型苗

導入メリット

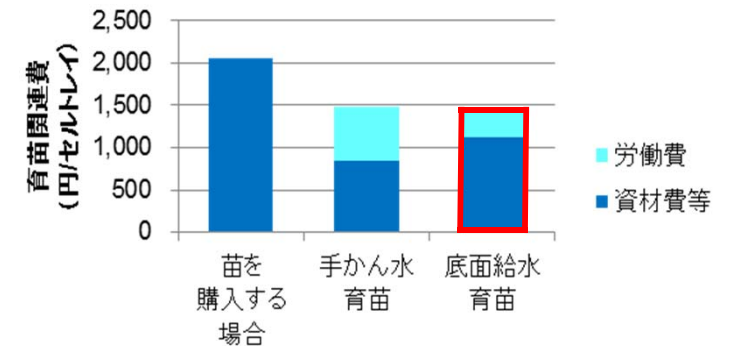
### 育苗の省力化が可能で、かん水ムラが少ない

- ・従来の手かん水と同等の苗質を得ることができる。また、かん水ムラが少なく育苗の失敗が回避できる。

キャベツセル成型苗の苗質と収穫時品質

|      | 葉数<br>(枚) | 草丈<br>(mm) | 胚軸長<br>(mm) | 収穫時<br>球重<br>(g) |
|------|-----------|------------|-------------|------------------|
| 底面給水 | 2.8       | 93         | 25          | 2,124            |
| 手かん水 | 3.3       | 88         | 24          | 2,187            |

- ・育苗のかん水にかかる時間が減少し、労働時間が減少。育苗関連費は資材費等・労働費と合わせて手かん水と同等。



## 期待される効果

- ・水田野菜に取り組む初心者でも、機械移植可能な苗質のキャベツセル成型苗を育苗できる。
- ・安定した苗生産が可能となることで経営が安定し、水田野菜の規模拡大に寄与する。

導入をオススメする対象  
キャベツを育苗するJA、個別経営体、集落営農組織

開発機関：滋賀県農業技術振興センター、予算区分【県単独予算】